

JIMTOF&ダイカスト展示会 出展後記

JIMTOF

JIMTOFは、2018年11月1日～6日の6日間、東京ビッグサイト（東京国際展示場）にて開催されました。ユシロ化学は今回、JIMTOFに始めて出展しました。1コマ（3×3m）の小さい展示ブースではあったものの、6日間で750名以上の方にご来展頂きました。期待以上に多くのお客様にご来展頂きました。

CFRP専用水性切削油剤「ユシローケンFGS5501」、CFRP専用水性離型剤「ユシロフォームSRT700W」、消泡性に優れるオイルフリーの水溶性切削・研削油剤「ユシローケンFGC836」をメインに紹介しました。それらメイン油剤に対するお問合せも多くありましたが、それ以外の切削・研削油剤に関する、お問合せ/紹介も多くありました。切削・研削油剤のユシロとして、ユシロへ期待されるお声も多くあり、改めてリーディングカンパニーとしての役割を全社一丸となり取組む必要性を痛感いたしました。



ダイカスト展示会

ダイカスト展示会は、2018年11月8日～10日の3日間、パシフィコ横浜にて開催されました。ダイカスト展示会は2年毎の開催で、前回よりも出展規模を拡大し、4コマ（12×6m）の展示ブースで、可視化離型剤をメインにダイカスト離型剤、プランジャー潤滑剤等の紹介を行いました。可視化離型剤に関しては、2004年のダイカスト展示会にて某社から紹介され、自動車、ダイカスト専門メーカーを始め、多くの企業に展開されました。そこを契機に、少量塗布化が進み、ユシロ化学も少量塗布離型剤を開発し、展開してきました。ただし、従来の可視化技術は、高温の金型では蛍光剤が消光してしまうため、 casting 立上げ時の塗布有無の確認に限定されていました。 casting 途中での可視化技術（高温金型でも消光しにくい離型剤）は多くの企業からの要望はありましたが、ハードルが高く、他社を含め実現できませんでした。今回、高温金型でも消光しにくい離型剤が開発されましたので、今回のダイカスト展示会を契機に展開を図ることとしました。

今回の展示会では、ブース内にプレゼンスペースを設け、1時間毎に、可視化離型剤をプレゼンするスタイルを始めて採用しました。また、プレゼン発表者を外部に依頼したのも初めてでした。新鮮さがあつたこともさることながら、このステージ開催が集客力アップに繋がったと考えております。また、カメラメーカーのエバジャパン様にも協力頂き、可視化離型剤の実演を行いました。

以上新企画および世界初の可視化離型剤の効果で、3日間で550名以上の方にご来展頂きました。今後、この技術によりダイカストの生産性向上、品質向上に貢献し、拡販に努めて参ります。

